

投入係数表

投入係数とは、ある産業が1単位の生産をするのに必要な原材料、給与等の費用の単位を示したもので、原材料、給与等の投入額（各産業部門の列の金額）を当該部門の生産額で除して求める。

投入係数表はこれを取引表と同様の形式（最終需要部門を除く）で一表にしたもので、各列の合計が1になる。

詳細は「[平成23年（2011年）東京都産業連関表 報告書](#)」P35～36を参照されたい。

逆行列係数表

ある産業に1単位の最終需要が発生した場合、取引の波及を通じてどの産業の生産が究極的に誘発されるかを示した表であり、投入係数表などから求められる。逆行列係数表の各列の産業に1単位の新規需要が発生した場合、同列の係数は各行の産業の生産に対し何単位の波及効果を及ぼすかを示している。

詳細は「[平成23年（2011年）東京都産業連関表 報告書](#)」P37～38を参照されたい。

最終需要項目別生産誘発額表

各産業部門（行）の生産額がどの最終需要項目（列）によってどれだけ誘発されたかを表したものが最終需要項目別生産誘発額表であり、逆行列係数表などから求められる。各行の合計は当該産業部門の生産額に一致する。

各産業部門の生産において中間需要として行われる取引も、詰まるところ最終需要を満たすために行われており、その関係を金額で示した表である。

詳細は「[平成23年（2011年）東京都産業連関表 報告書](#)」P39を参照されたい。

最終需要項目別生産誘発係数表

最終需要項目別生産誘発額を対応する最終需要合計で除し、一表にしたものが最終需要項目別生産誘発係数表である。この係数は、ある最終需要項目（列）が合計で1単位増加した場合、各産業部門の生産が何単位だけ増加するかを示すものである。

詳細は「[平成23年（2011年）東京都産業連関表 報告書](#)」P39を参照されたい。

雇用表

雇用表は、産業連関表の対象となった1年間の生産活動のために各部門が投入した労働の量を、雇用者数（常用雇用者、有給役員、個人業主数及び家族従業者数等）に分けて、年平均人数で表示したものである。

この雇用表からは、投入係数、生産誘発係数等に対応する労働投入係数、労働誘発係数等が計算でき、これらの係数を用いることにより、最終需要の変化がもたらす雇用需要への波及過程と雇用需要の総量を把握することができるため、労働力流動や就業構造の分析、経済変動の雇用面への影響に関する分析、更には雇用需要の将来予測等が可能となる。

詳細は総務省 [「平成 23 年（2011 年）産業連関表（－総合解説編－）」](#) 第 5 章 P 122～124、第 7 章 P 137～138 を参照されたい。